

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	国際観光都市松本推進事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人アルプス善意通訳協会 (事務局 高山 洋 090-9669-3454)
事業区分	(6). ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,381,702 円 (うち支援金: 1,105,000 円)

### 事業内容

最終年度の H29 年度は継続 4 事業を精力的に推進した。

<継続事業>

- 多言語化事業
  - 仏語、西語、中国語メンバーの育成。
- ガイドの質の向上
  - 正しい案内のための「発音クリニック」
  - 知識を広げる講演会の実施 (一般公開)
- リスニング力の向上: LTE (一般公開)
- 外国人にやさしい街づくり
  - 英語の「受け答え集」を作成し飲食店に配布し、メニューなどの個別要求にも対応した。



120 名以上が参加したマリ・クリスティーン氏講演会 (6 月: 一般参加 53 名)

### 【目標・ねらい】

- ① 英語以外のガイドを養成する
- ② ガイドの質の向上に取り組む
- ③ 市民が英語を使えるように仕向ける

※自己評価 【 A 】

### 【理由】

- ・英語以外のガイドが可能となったため
- ・具体的な地域サポートを始めることができたため

### 事業効果

- ・仏語 (4 名)、スペイン語 (4 名)、中国語 (4 名) の案内が対応可能になった。
- ・一般公開した講演会、リスニング力向上研修に一般市民の方も多数参加した (一般参加 各 89 名、86 名)
- ・英語「受け答え集」を飲食店 46 軒に配布し、個別英文メニュー等を 6 軒分作成した。
- ・「ALSA カード」を浅間温泉、大町温泉郷にも配布した。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・多言語化についてはまだ不十分な体制のため引き続き内部研修を継続する。
- ・「外国人にやさしい街づくり」のために、市民に公開する英語講座、歴史文化講演を企画・実施する。また、行政とも連携して市民向け諸資料の充実ができるよう検討をしたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある